



We  
Serve  
〈真心こめて ウィ・サーブ〉

# 四国

ライオンズクラブ国際協会336-A地区 地区誌 10・11・12月 第108号 令和1年12月31日発行







## 絆を深めた地区ガバナー公式訪問

ライオンズクラブ国際協会336-A 地区ガバナー 高岡 英治 (松山湯築)



2019年～2020年度336  
A地区ガバナー公式訪問は2019年8月17日(6R)から始まり、10月26日(1R)で9リジョンすべて終了しました。

ガバナーにとって公式訪問は会員の皆様にご理解いただく大切な機会です。訪問者は、3役、コーディネーター、地区年次大会委員長です。各リジョンそれぞれに地区の個性をいかしたセッティングでいい雰囲気でした。公式訪問は、満場の会員

の拍手の中入場。リジョン・チェアマンの開会宣言とゴングで開会し、つづいて国歌並びにライオンズの歌斉唱、会場内の一体感に私の胸にこみあげるものがありました。それは急なガバナー就任の7月を思い出したからです。

進行は元地区名誉顧問の激励のあとガバナー挨拶。四国はひとつの思いを胸にチョイ国際会長の多様性の活動とおして社会貢献を望む思いを話し尽力してほしい気持ちを伝えました。会員の皆さんの熱い視線、支援の視線に安堵と感謝の気持ちが入りまじっていました。公式訪問の記念品贈呈、クラブ会長へバナーとバッヂを1人ずつ手渡した後強く握手をかわし、四国のクラブ発展に寄与したいという思いは、ますます強

くなりました。

つづいてキャビネット役員からの要望、各クラブ会長の目標と活動報告です。スローガン、会員増強、アクトイビティなど発表があり、前向きの内容に期待感いっぱいでした。

質疑応答は少ししかなく、ご理解していただいていることに喜びを感じました。

公式訪問終了後は楽しい懇親会の開宴です。なごやかな雰囲気、おいしいお料理にお酒もすすみ会員同志の交流も深まったようです。

ライオンズローアで閉宴、会員一同の顔は笑みであふれていました。終りに役員の皆様、会長の皆様、会員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



### We Serve CONTENTS

- 2 地区ガバナー公式訪問を終えて
- 3 地区ガバナー公式訪問  
担当MC委員レポート(開催日順)
- 12 ガバナー公式訪問に随行して
- 13 YCE合同サマーキャンプ
- 21 YCE生受入れホストファミリー
- 22 YCE生受入れホストクラブ
- 23 第32回 国際平和ポスターコンテスト
- 26 クラブ周年記念事業・式典
- 28 国際会長公式訪問に出席して
- 29 第58回 OSEAL(広島)に参加して
- 30 随想「三献運動推進」パレードの思い出
- 31 物故会員
- 32 第66回 地区年次大会案内

表紙：道後温泉本館とお湯路さん  
四国をぐるっと継いだ湯路とお接待文化。伊予のおもてなし処、道後の湯。  
〈撮影：宗像陽明〉



# 宿毛市で20年ぶりの公式訪問



8月17日、宿毛市のスワロー会館で、今年度として初めてのガバナー公式訪問が開催されました。台風の接近を心配し、影響が残る中で準備を行いました。当日は足取りも軽やかになるほどの晴天となりました。

8月に入り松山キャビネットが機能してきた事、第66回地区年次大会において、参加を募り盛大に開催したい事、厳しい現状の中、会員の増強について抱負を熱く語られました。また各クラブからの要望事項並びに質疑応答においては、高岡地区ガバナーが真剣に又詳細に回答し、高岡地区ガバナーのキーワードでもある「真心」を感じると共に誠実な人柄に感銘を受けました。

336・A地区役員・委員、6R・1Z、3Zまでの16クラブ会長をはじめとするライオンズクラブメンバー総勢70名の会員が待つ中、菱田征夫6R・RCに先導され、高岡英治地区ガバナーとキャビネット役員の入場から始まりました。

最後に、各クラブ会長の今年度の目標と抱負の発表があり、所属クラブは違ってもWe Serveのスローガンを今一度再認し、無事公式訪問を終える事ができました。

菱田征夫6R・RCの歓迎の挨拶の後、橋本充好元地区ガバナー・名誉顧問の地区ガバナーへ激励の言葉があり、激励の言葉に答へ高岡地区ガバナーの挨拶がありました。





レポート  
7R・MC・ライオンズ情報  
・地区誌・大会参加委員  
青地 和典(高知黒潮)

## 拡大の7R 高岡地区ガバナーの真心に接して

土佐の真夏の祭典よさこい祭りも終わり、お盆明けの暑い中8月18日、336・A地区7Rガバナー公式訪問が高知プリンスホテルで盛大に開催されました。

会場には、7R15クラブのクラブ旗が勢ぞろい、7Rの地区役員・委員、各クラブの5役の皆様、総勢約100名で高岡英治地区ガバナーをはじめ、松山キャビネット役員を盛大な拍手でお迎えし、ご入場いただきました。

開会宣言・開会ゴング・国家斉唱・ライオンズクラブの歌斉唱・地区ガバナー・地区役員・委員・出席クラブの紹介のあと、坂東伸政7R・RCの歓迎の挨拶、長谷川憲男・三谷智省元地区ガバナー・地区名誉顧問より激励の言葉を頂戴し、その後、高岡英治地区ガバナーのご挨拶となりました。

高岡英治地区ガバナーのスローガンは、「We Serve」、キーワードに「真心」を掲げ、「ライフスタイルの変化やデジタル化の加速など非常に変化の激しい時代にな



っている中それらをうまく活用して今までの既成概念にとらわれることなく、真心をもって創立時の理念をモットーに地域に密着した活動をしていくことで、一人一人の思いが大きく広がることを念じています。そのために、各クラブにおいてもIT化の現状や課題をさらに具体的に把握して問題を解決していただきたい。」と熱く抱負を語っていただきました。

次に、酒井公一第一副地区ガバナー・蔵本守雄第二副地区ガバナーの挨拶があり、高岡英治地区ガバナーより各クラブ会長に記念品の贈呈が行われました。

休憩をはさんで、キャビネットからの要望事項があり、その中で高岡英治地区ガバナーが全15クラブの会長一人一人から今期の方針やスローガンの発表・会員増強についての意見に耳を傾けながら真心の対話をしていただき、会場には活気とやる気が見え、なぎつてくるとともに大きな信頼感が広がりました。



その後、各地区コーディネーター・地区委員からの要望事項の伝達、キャビネットへの要望事項及び質疑応答が行われ無事故・大成功で地区ガバナー公式訪問を終了しました。



# 待ちに待った公式訪問

8月24日、12時より8R地区ガバナー公式訪問が阿波観光ホテルで行われた。

高岡英治地区ガバナーを先頭に澤田キャビネット幹事らが肅々と入場。司会進行役をホストクラブ阿南ライオンズクラブ住友会長が務め、片山8R・RCの開会宣言、開会ゴングが鳴り、公式訪問が始まった。

地区ガバナー並びに地区役員・委員、各クラブ紹介、ガバナー激励の言葉に続いて、高岡地区ガバナーが挨拶に立たれた。

就任までの経緯と立ち上げまでの経過を報告し、参加クラブ会員へ理解と協力を呼びかけた。第二・第一副地区ガバナーの経験なしでの役席だけに短期間での習得は大変であったが、いろいろ習得する中で一番重要で大切なことは、「336・A地区は一つであること」これに気付けられたと語った。これから一年全身全霊をかけて、各クラブが楽しく、有意義に運営できるように惜しみなく協力・支援をしていくと力強く挨拶された。

公式訪問記念贈呈式では、各クラブ会長に高岡地区ガバナーより、一言ずつ言葉を添えてバナーを手渡した。

記念品の贈呈後に高岡地区ガバナー、澤田キャビネット幹事、兵頭会計、地区コーディネーターより要望事項があった。



真鍋G.M.T・GLTコーディネーターは、「退会防止に努め純増1名」を、村井F.W.Tコーディネーターからは、「女性会員の力で会員増強を、また、子どもの貧困対策や小児がん対策として、ヘアードネーション、外貨提供」、橋本L.C.I.Fコーディネーターは、「今年度もL.C.I.F100キャンペーンとして1人100ドル献金を」と、強く献金を要望した。

休憩後、各クラブ会長より目標と抱負が述べられ、午後2時30分頃ガバナー公式訪問は終了した。

引き続き2会場に分かれ、第1回ガバナー諮問委員会とゾーンレベル会員委員会が開催された。各委員会とも活気のある委員会であった。

委員会終了後、懇親会に移った。酒井第一副地区ガバナーの乾杯の発声で宴は始まり、和やかなムードの中、地区年次大会の参加呼びかけなど次回再会を約束し、宴は終了した。

ガバナーキーワード「真心」がひしひしと伝わる言葉に感動をおぼえるとともに、この1年間高岡地区ガバナーのもと、有意義なライオンズ活動が行えるものと確信した1日であった。



2019.08.24

レポート  
9R・MC・ライオンズ情報  
・地区誌・大会参加委員  
友枝 幹雄（鳴門）

## ガバナーの決意が 伝わりました

毎年、台風の影響を受けている日本ですが、2019年の徳島の夏のメインイベントである、阿波踊りが、台風10号の影響で2日間中止になりました。その10日後の8月25日(日)に、イレギュラーな事から始まり、難産だった、高岡キャビネットの9R地区ガバナー公式訪問が阿波観光ホテル、5Fクリスタルパレスで開催されました。前日、8Rの地区ガバナー公式訪問・ガバナー歓迎会があった翌日ですが、皆さん元気に、「今年1年を何とかしなければ」と言う意気込みで、山本菊太郎9R・RCを先頭に入場されました。

高岡地区ガバナーよりこれまでの経緯が説明されました。「地区大会でこれまでにないことが起き、5月19日の特別会議で地区役員が投票で選ばれました、第二、第一副地区ガバナーの準備期間の経験が無いので、国際理事よりパソコンに送られてきた資料を半月間、一生懸命勉強をした後、資



格審査があり、その結果合格したようです。その後6月30日の国際理事会でガバナーの承認を受けました。イタリア・ミラノでは非常に苦労しました。そして7月4日には出発して帰国後もまだ準備を進めています。141クラブの皆様には非常にご迷惑をおかけしています。そして今、高知に続き8R・9Rと4つの公式訪問を開くことができるまでになりました。今、各クラブ共、会員減少等運営は大変でしょうが一緒に基盤に戻って、会員増強・LCIF・糖尿病の啓発活動等を着実に進め、先輩方の指導を受けながら、この1年を皆さんと一緒に頑張つて進めていきたい。」と意気込みを話されました。それから、元地区ガバナーより、面白い事例を紹介していただきました。東京のあるクラブは、会員1000人を目指すために、会員の層を熟年(65歳以上)

・壮年(55〜64)・青年(54歳以下)に分け、それぞれに役目を作っています。熟年は財を出し、壮年は知恵を出し、青年は力を出す。年会費もそれぞれ10万円、7万円、3万円とし、例会費は、出席者のみが支払い、第一例会は第1木曜日夜で、会費5,000円、第二例会は第3水曜日で、昼12時からにして会費3,500円、これによりすでに会員は1000人を超えているとのこと。

皆さん、今年1年高岡地区ガバナーを中心に「We Serve」・「真心」で、知恵を出して頑張つていきましょう。





## 個性ゆたかに――

残暑がまだまだ厳しいなか、336・A地区2Rの「地区ガバナー公式訪問」が、新居浜市のユアーズで開かれ、2Rらしい個性に満ちた大会になりました。

参加者は高岡英治地区ガバナーを始めキヤビネットから10人、関野邦夫前地区ガバナーら役員15人と2R17クラブから会長など総勢110人が集いました。

司会は植木光夫RCAが担当し、明比紳一郎RCの開会宣言によりスタート。

高岡地区ガバナーからは、公式訪問としてバナーとガバナーピンが手渡されました。今回の要望事項としては、各クラブ純増1人を目標に、活発なクラブ運営を要請されました。

また、今期は「支部クラブを作ろう」をスローガンに、「まずは少人数から地域社会奉仕や、仲間と『人生』を楽しむ」ために、リーダーづくりなどを要望されました。同じく、レオクラブについては西条石鏡



の取り組みを評価しながら、レオの輪をさらに広げようとの呼びかけもありました。

こうした要請を念頭に、各クラブからは目標に向けそれぞれ抱負を述べていました。

今年度のメイン大会「オセアルフォーラム」についても、広島で開催されることから、各クラブから多数の参加申し出がありました。(大会はすでに終了していますが、盛況に終わったとのことです。) 続いての懇親会では、西条LCの花山志郎会員らによるジャズバンド「アップルカルテット+ワン」のアトラクションもあり、締めくくりはバンドの生演奏で「また会う日まで」を高らかに歌いました。

会場からは「2Rの大会運営は毎回素晴らしい」とのお褒めの言葉をいただき、今期上々のスタートとなりました。



レポート

5R・MC・ライオンズ情報  
・地区誌・大会参加委員  
矢野 匡則（観音寺中央）

## 令和の時代のライオンズ

新しい336・A高岡英治地区ガバナーが公式訪問されました。

スタートが1カ月ほど遅れたものの、ガバナー・スローガン「ウィ・サーブ」ガバナー・キーワード「真心」の元、令和元年の新しい年の出航となりました。

時代の変化、それにも増して昨今では天候による多くの災害があり、会員の有りようは変化しつつあります。

私たち地区委員は、地区ガバナーの方針をよく理解して活動しなければなりません。公式訪問は、地区役員・地区委員の大きな励みとなり、やる気をおこさせることでしよう。

今期地区ガバナーが会員の増強という目標を達成し、例会の出席率を高めるためには、方法が3つあると思います。まず1つは、普段から連絡を密にしてライオンズの現状を共有する事。2つ目は、知恵と工夫で、誰もが参加したくなるような楽しい例会にすること。3つ目は、退会に至った原因



因を改善していくこと。です。

地区委員である私たちが、地区委員長と、R・Zクラブの意見の調整役として活動しなければなりません。MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員として、地域社会へどのように情報を発信していくのか、奉仕活動を地域の人々と共に広げていくには、何をすべきか。

情報発信も会報誌のみならず、新聞や市町村の広報誌、SNSを最大限に活用してはどうかと思えます。

多くの人々がライオンズの奉仕精神に共感し、目標の為に一緒に頑張りたいと思っただけだかと思えます。

「四国は二つ!!」の名のもとに、ライオンズクラブをより高みへ！改革に奉仕して参りましょう。





## 3リジョン地区ガバナー公式訪問

少し天気心配された令和元年9月21日(土)、大洲市「たる井」において、高岡英治地区ガバナーほかキャビネット役員をお迎えし、3リジョンからは、岡本幸一RCほか地区役員、委員、各クラブから会長をはじめ50名、総勢68名で地区ガバナー公式訪問が開催されました。

最初に、岡本幸一RCが、高岡地区ガバナーを以前からよく知っています。ガバナーは大変誠実な方です。今日の公式訪問でいろいろ質問してください。なんでも聞いてくれるガバナーなので何でも相談してください。今回のガバナー選出につきましては、いろいろ問題がありました。『雨降って地固まる』ということで、キャビネットも基礎作りが出来たところです。これからは力を出していただけたらと思います。せっかく大洲に来て頂いたのです、お帰りの際には小京都大洲を観光して帰って下さい。と歓迎の挨拶をされました。

高岡地区ガバナーは、キャビネットの活動の出足が遅れているが、西日本の「災害復興」のためにも「ウィ・サーブ」。皆さんの意見を聞き、誠意をもって対応したい。四国は一つである。と挨拶

をされました。

続いて、酒井第一副地区ガバナーは、10年前に比べると会員が大幅に減少していて、会員増強が急務であると述べられました。次にガバナーの要望事項として、①LCIFへの寄付のお願い ②会員増強のお願い(クラブで1名の純増) ③糖尿病予防、小児がんの撲滅。を個々のクラブのやり方でやって欲しい。自分のクラブを大切にして奉仕活動に邁進して欲しいと要望されました。また、澤田地区キャビネット幹事からは、会費の納入、OSEALフォーラム広島大会への参加要請(336・A地区の各クラブから5名)、地区コーディネータからは、クラブの解散、会員減少が続いている。ガバナーのローテーションを廃止して、やる気のある人で盛り上げていかなくてはならない状況になっている。賛助会員等多様性が必要ではないか。例会の進め方、会員の人間関係などの不満が出ないクラブ運営を進めていくべきではないか。といったことが述べられました。

岡本3RCは、3リジョンでも3クラブが解散した。解散予備クラブが2、3クラブあると聞いていて、危機感を持っている。また、LCIFのお金を地域に回すという意見も多いと発言された。それに対して地区ガバナーからは、小さいクラブは大変だと思いが、20ドル、50ドルでもいいから増やしてほしい。336・A地区全体でカバールし合って目標を達成すれば良いのではないかと返

答がありました。

この後、各クラブ会長が、今年度の目標や抱負などを述べて、公式訪問が閉会されました。

懇親会では、キャビネット並びに各クラブとの交流が活発に行われました。



レポート  
4R・MC・ライオンズ情報  
・地区誌・大会参加委員  
佐藤 勇(高松源平)

# 4つのゾーン22クラブ一同に会し

去る9月29日(日)336・A4リジョンの地区ガバナー公式訪問及び諮問委員会が、高松市香川町ザ・チエルシーに於いて開催されました。

高岡地区ガバナーは純増1名への努力を熱心に語り、藤川佳代4R・RCからも、高岡地区ガバナーからの伝達事項として特に会員増強の重要性を強調されました。

また、第58回オセアルフォーラムが広島で開催されるため、多数の参加を要請されました。

私も地区委員として奉仕活動に取り組み、各クラブの活性化のため会員増強を強調してきました。

また、会報誌作成の重要性について発表しました。各クラブより会報誌に取り組んでいない事情について発言があり、毎月発

行しているクラブの並々ならぬ努力に感慨深いものがあります。

会報誌はライオンズクラブの3大広報誌「ライオン誌・地区誌・会報誌」の一つとしての役目は大きく、会員相互理解と親睦の輪が広がる礎となると思います。







We Serve

2019  
10/26(土)

# 1 Region ウェルピア伊予

レポート

1R・M・C・ライオンズ情報  
・地区誌・大会参加委員  
小倉圭二(松山中央)



令和元年10月26日  
(日) 336・A地区  
最後のガバナー訪問  
がウェルピア伊予で  
開催されました。1  
R 18 LC旗が整然と

並ぶ中高岡英治地区ガバナー・酒井公一第一副地区ガバナー・蔵本守雄第二副地区ガバナー・真鍋隆元地区ガバナー地区名誉顧問GMT・GLTコーディネーター・澤田有馬地区キャビネット幹事・兵頭好喜キャビネット会計・村井淳子地区キャビネット副幹事事務局長FWTコーディネーター・大川耕三年度次大会委員長が盛大な拍手に迎えられて入場されました。白方基進1ZCの司会で進められ開会宣言及びゴングの後三好重樹2ZCにより地区ガバナー並びに地区役員・委員の紹介及びクラブ出席者の紹介が行われ壽野春幸1RCが歓迎の挨拶を述べられました。続いて高岡地区ガバナー挨拶では昨年の西日本豪雨災害や今年の台風19号による大規模水害のように災害がいつどこで起こるか分からないのでアラート委員会を設立して情報交換を行い協力支援をお願いしたい。また会員純増1名を目

指しライオンズクラブとしての誇りを持ち四国は一つ、141クラブの活性化を望み今のむつかしい時代を乗り越えて頑張ってくださいと



第一副地区ガバナー  
酒井 公一

ご挨拶がありました。続いて酒井第一副地区ガバナー、蔵本第二副地区ガバナーのご挨拶がありその後高岡地区ガバナーより各クラブの会長にバナーと記念品が贈られました。会も式次第に沿って進みキャビネットからの要望では高岡地区ガバナーより引き続き小児がん及び糖尿病への支援をお願いしたいとお話があり澤田幹事からは11月8日から開催されますオセアルフォーラム広島大会にたくさんの会員さんに参加していただきたいと要望がございました。その後地区コーディネーター及び委員長また地区役員からの要望があり休憩を挟んで各クラブ会長の今年度の目標と抱負を語られ高岡地区ガバナーの要望事項並びに質疑応答が行われ閉会宣言及び閉会ゴングを迎える事となりました。公式訪問終了後懇親会が行われ無事公式訪問が終わったという事で大変和やかで楽しい懇親会となりました。最後に公式訪問をホストクラブとして準備していただいた砥部ライオンズの皆さんには心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



キャビネット幹事  
澤田 有馬



第二副地区ガバナー  
蔵本 守雄



キャビネット会計  
兵頭 好喜



GMT・GLTコーディネーター  
元地区ガバナー・名誉顧問  
真鍋 隆



FWTコーディネーター  
副幹事・事務局長  
村井 淳子

# ガバナー公式訪問に随行して

336-A地区 キャビネット会計 兵頭好喜(松山中央)

8月17日最初のガバナー公式訪問にいざ出発！6R宿毛会場へ向け、高岡地区ガバナー、澤田幹事、兵頭会計、村井事務局長の4名で私が運転し、高知県宿毛市へむけひた走るも県境を越える山の中で食堂も無くなり、会場ホテルに直行しましたが、真鍋名誉顧問と僅差で到着。菱田6RCのリーダーシップのもと着々と準備が整っており、いよいよ菱田RC先導で会場の皆さんスタンディングオベーションでお迎えして頂き、ガバナー、名誉顧問、第一、二副地区ガバナー等々と続き入場をする。キャビネット要望や活発な議論及び発表の後、懇親会では6R、ZC、各クラブ会長、役員の方々のクラブ活動の活発さ、人柄の良さを実感する事が出来ました。菱田RCさんのアカペラで歌う歌謡ショウも堪能した懇親会でした。終了後宿毛LCさんの二次会に合流させていただきました、あまりにも楽しかったのではしやぎすぎしピンバッチを無くしてしまい、宿毛LCの濱田会長、事務局員さんが探して届けて頂きご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。

翌日18日は7R高知会場に向け宿毛を出発し、右側に太平洋を眺めながらの風光明媚な国道をひたすら高知会場へと。会場に到着すると酒井第一副地区ガバナーの歓迎を受け、公式訪問会場に坂東RC先導で一同入場する、歓迎挨拶、キャビネット、地区役員からの要望などの後、7R内各クラブの会長より今年度の目標と抱負を語って頂く。特に坂東7RCの力強い会員増強の発表に勇気づけられました。新入会者の獲得を必ず宜しく願います。7R会場でも式典、懇親会を通じ、各クラブの会長、役員の方々の皆様の熱い想いと友愛がひしひしと伝わりました。

8月24日に8Rの公式訪問に兵頭会計、村井事務局長、大川地区年次大会委員長で出発(地区ガバナー・澤田幹事は別便)片山毅8RC、ZC、各クラブ会長、役員さんの歓迎のもと会場に公式訪問団入場。8R各クラブの会長を始め皆さんが熱い思いで今年度の抱負を述べて頂く。8R会場でも式典、懇親会を通じて各クラブ内またはゾーンを超えての友愛と相互理解を感じることが出来ました。

翌日は橋本地区名誉顧問先導により、名物徳島ラーメンを食して9R会場



へ。山本菊太郎RC先導で訪問団一同入場する。式典、懇親会を通じ、各クラブの会長をはじめ役員の方々の意気込みと友愛と相互理解で絆を深めている様子が伝わりました。

9月1日2R公式訪問に、兵頭会計、村井事務局長、大川地区年次大会委員長で出発。明比紳一郎2RC、ZC、各クラブの会長役員の方々の歓迎を受けて会場に訪問団一同入場する。式典、懇親会とも活発に意見交換出来、有意義な公式訪問でした。

9月14日5R公式訪問に兵頭会計、村井事務局長、徳本地区年次大会統括委員長で出発。(地区ガバナー・澤田幹事は別便)5R会場では石川勉RC、ZC、各クラブの会長、役員の方々の歓迎のもと会場に公式訪問団入場。式典、懇親会も順調な中にも気品に満ちた運営でした。

9月29日4R公式訪問に兵頭会計、村井事務局長、越智地区年次大会事務局長で出発(地区ガバナー・澤田幹事は別便)4R会場では素敵な和服姿で藤川佳代RC、ZC、各クラブ会長、役員、素晴らしい会場(結婚式場)でお迎えを頂き訪問団入場する。式典では藤川佳代RCさんの挨拶は現状を良く捉え、今後の課題に果敢に挑戦し、指導育成に取り組み強い決意が感じられました。懇親会も素敵な会場でゆったりと懇親を深めることが出来ました。

10月26日1R公式訪問に出席する。1Rでは壽野春幸RC、ZC、各クラブ会長、役員より歓迎を受け、公式訪問団入場し式典、懇親会共に順調に終わる。澤田幹事より広島開催のオセアルフォーラムに出席して頂く事を再度要請する。

各Rの公式訪問の度に感じたことですが、どの会場もライオンズ精神(奉仕)にのっとり、友愛と相互理解、プロトコール等伝統を重んじる中、RCさんのカラーがにじみ出て良い雰囲気での式典、懇親会の開催となっている事に感心しました。会計の立場で地区費の納入のお礼と会員増強をお願いして参りました。高岡地区ガバナーの四国は一つ、地域に密着した奉仕活動を実践する為にも会員増強できますよう、会員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いを致します。

最後に、公式訪問に際しましては、温かく迎えて下さいまして、誠に有難うございました。



# YCE 2019~2020 Summer Cammp



one heart  
7月19日(金)~25日(木)

## ライオンズクラブ国際協会 336-A・B・C地区合同サマーキャンプ

♥ 青少年の国際的なホームステイ(青少年交換)YCE、視野を広め、国際的理解と友情を深める



日本のおみやげは自分でつくる…。  
6日目、砥部焼に絵付け後日、焼成して届けた…

- YCEサマーキャンプ留学生
- A地区 4名
- B地区 4名
- C地区 4名





# YCEサマーキャンプ総括

YCE・ライオンズレオ・国際関係委員会

委員長 大野 健夫(松山南)

今期の夏期キャンプは、336・A・B・C3地区のYE生で合同開催をしました。又、受入ホストファミリーの負担軽減を考慮し、例年より少し長く1週間の日程で活動しました。場所は前半が岡山県の「国立吉備少年自然の家」で、後半が愛媛県の「ウェルピア伊予」です。12名のYE生とさらに岡山での前半は、地元大学生で構成される2つのレオクラブ17名と高校生2名の総勢31名の若者でキャンプのスタートを切りました。

岡山のキャンプ地「国立少年自然の家」は、山あいの自然豊かな場所にあります。青少年の健全育成を目指した施設ゆえに生活ルールも厳しく、食事や食べ盛りの若者には少し物足りない内容でした。又、折からの台風接近で、開村式から連日の雨であり、予定していた野外活動も変更せざるを得なくなるなど、YE生にはストレスが溜まったのでは

ないでしょうか。しかし、キャンプメンバーの半数以上を占めるレオクラブの協力により、楽しく前半を終えることができました。

そして後半は、天気こそ相変わらぬ曇天ではありましたが、サイクリングや観光などで毎日外出です。夕食にBBQを楽しんだり、部屋にカップ麺や菓子、飲み物を持ち込み、夜遅くまで雑談に花を咲かせるなど、自由気ままに過ごしていたようでした。監督者としても少し厳しく接した方が良かったのかもしれませんが、お許し下さい。

それぞれのホストファミリーを離れ、同年代の若者が英語を共通の言語とし、各地への移動も全て一緒に、1週間寝食を共にするわけですから、お互いに緊張していたのは最初の数時間であり、必然的にキャンプ初日の夜から楽しく過ごしていたようでした。

ホストファミリーの皆さんには、



YE生を観光地に連れて行っていただいたり、日本の歴史、文化に触れさせていたただいております。YE生が一堂に会するキャンプ経験を加えることで、YCE事業の目的である国際間の相互理解、親善がより一層現実的なものになると思います。

お陰様でキャンプも無事終えることが出来、ご協力いただいた関係各位の皆様には大変お世話になり有難うございました。





7月19日(金)  
岡山

## ホストファミリーと一緒に JR岡山駅に集合して：

13時半、各ホストファミリーより

ていたようであり、その声

JR岡山駅への集合の後、前半のキ

は廊下まで響き渡りました。

キャンプ地である【国立吉備少年自然

(当日は館内に他の宿泊者が

の家】へとバスで向かいます。15時

居なかつた事が幸いです！)

半より、少し肌寒く感じられる小雨

水着を着用して入浴する

の中、ラウンジ(屋外)で開村式が

など、最初は日本の生活様

行われました。

式に戸惑ったYE生もいた

YE生は緊張気味で口数も少なく、

ようですが、これからの1

通訳係の女子大生の指示で式に臨み

週間が楽しみです。

ます。それぞれに自己紹介をした後、

YE生の内訳は、台湾男

336・B地区の小野地区ガバナー

子6名・女子3名・フラン

よりプレゼントが渡され式は終了し

ス男子1名・イタリア女子

ました。

1名・フィンランド女子1

そしていよいよ宿泊棟へ移動です。

名。皆、真面目で素直な優

その夜、レオクラブのメンバーが

しい若者でした。

合流し雰囲気が一変します。(施設

就寝時間の22時など関係無く)早速

に深夜2時頃までゲームや談笑をし





7月20日(土)  
岡山

## 野外炊事のカレー作り しんぱいしないデス！

敷地内の鳴滝湖でカッター2艇を使い野外活動をする予定でしたが、本日もまた小雨で中止。止む無く館内でゲームをしたりスポーツを楽しみました。昨夜の睡眠不足を考えると、少しのんびり出来て良かったのかもしれない。

昼過ぎには雨も止み、15時から予定どおり野外炊事でカレー作りにチャレンジです。まずは米炊きの為に薪割りから開始。その後男子は火を熾し米を炊く当番。一方女子はじゃがいも等食材の準備。ぎこちない包丁の使い方でひやひやでしたが、出

来上がったカレーは実に美味しく、おかわりをする者も多数いました。夜になり、昨夜同様深夜まで騒いでいると、館内に他グループが宿泊していたようで、さすがに施設の方より注意を受けたようです。



7月21日(日)  
岡山

## 雨でもOK！ 行こうヨ海水浴。

今朝も相変わらずの小雨です。

本日予定していた施設外活動（海水浴）について皆に相談を持ち掛けたところ、返ってきた言葉は「連日の雨の中、気分がすっきりしたいので、とにかくこの施設から外出したい」との事でした。昨日のカッター漕ぎ中止もあり、のんびりしたいなどとは微塵も思っていなかったようです。

予定していた鳥取県の白兎海岸は台風の接近もあり波の高い状況が確

認された為、海水浴を中止して砂丘観光や他の施設等へ先を変更しようとなりましたが、レオクラブの女子から、女子は皆すでに服の下に水着を着てますよとのこと。検討のすえ、行先を（瀬戸内側）岡山県の渋川海水浴場に変更をして、予定通り海水浴に向かうこととしました。

時折小雨が降る中、雨宿りを兼ねて海の家を確保しながら、到着するや否や皆小学生のように大はしゃぎです。鳥取より近いこともあり時間もたっぷりとれました。海で充分楽しんで後は近隣に水族館もあり訪れ

ると、珍しい魚を見つけてはまた大はしゃぎでした。あいにくの天候ではありましたが、何等トラブルも無く楽しいひと時を楽しめたと思います。





7月22日(月)  
香川

うどん県でうどん作りに挑戦  
できたヨ。おいしーいヨ。

吉備より松山へキャンプを移動する為、早朝松山よりバスでY.E生を迎えに行きます。

岡山のリオクラブ生とは今朝お別れです。本当に感謝の3日間でした。高校生2人は松山キャンプまでお付き合いました。施設退所時におけるチェックに手間どり予定より出発が多少遅れましたが、最初の目的地琴平へ向けバスを出しました。

昼過ぎ、金比羅参道入口付近にある中野うどん学校に到着をし、早速うどん作りに挑戦です。渾身の力を込めて生地を練り、次は立って、軽快な音楽に合わせて生地の足踏みを行い仕上げていきます。「私の作ったうどんです」のプラカードを持ちそれぞれに記念写真です。発酵時間の関係でそれを食べることは出来ませんでしたが、場所を変えて、箸使いも上手くうどんとちらし寿司の昼食をとりました。どの顔も皆ニコニコでした。時間の関係で残念ながら

金比羅参拝は出来ず、次のキャンプ地「ウエルピア伊予」に向け出発しました。

2時間バスに乗車後、到着前の近くの大型ショッピングモールで1時間弱のフリータイムを取りました。皆時間が足りなかったようですが、集合時間までに全員揃いました。少し可哀想。

予定通り17時に無事ウエルピア伊予へ到着です。それぞれの部屋で小休止の後、18時から歓迎会が催されました。336・A高岡地区ガバナーをはじめ1リジョン各クラブ会長有志のご参加をいただきました。高岡地区ガバナーからバナーが贈られ又、アトラクションとして企画した郷土芸能の「野球拳踊り」にも参加してもらいました。歌詞を通訳しにくい言葉の壁でしょうか、最初は意味不明的な表情でしたが、すぐに溶け込み楽しく過ごしました。  
本日は移動の時間も長かったので、さぞかし疲れたことでしょう。



7月23日(火)  
愛媛(今治)

ヤッホー  
しまなみ海道で  
サイクリング。

第5日目の予定は、昨年実施したしまなみ海道サイクリングです。

8時半宿舎を出てバスで今治糸山サイクリングターミナルへ向かいました。到着後自転車に乗り換え、対岸の大島下田水サイクリングターミナルを目指します。晴天ならば来島海峡大橋をさすがしく走ることにも出来たでしょうが、またもや曇天が邪魔をします。それにしてもキャンプに入ってからまだ一度も太陽を見ていません。自転車操作に不慣れな者も居り、先頭と最後尾の間隔が大きく開きましたが、全員無事到着です。

その後自転車を預け、バスで大三島多々羅しまなみ公園近くのレストランへ移動です。曇天のせいか、空腹なのか景色を楽しむのもそこそこに店内へと入って行きました。2人

前を食した大食漢もいたようです。

昼食後、再びバスで大島へ戻り、戦国村上海賊の資料館である村上水軍博物館を見学しました。各国語のパンフレットを渡したもののあまり解らないようであり、一方、体験ルームでは甲冑を身にまとい、記念写真では皆、凜とした姿でカメラに収まっておりました。

お天気が良ければ亀老山展望公園へも行き絶景を楽しむ予定でしたが、まだまだ天気も回復しそうも無く断念いたしました。

その後、預けておいた下田水のサイクリングターミナルへ戻り、再び自転車に乗り来島海峡大橋を渡ります。往路で遅れた女子に対して、復路ではフランスの男子がしっかりと伴走をし、遅れず無事到着です。これも国際親善といったところでしょうか。

行き帰りの道中では、路面の濡れや運転操作のミスにより転倒をした者も居りましたが、擦り傷の怪我で

あり大事に至らずに済みました。サイクリングは危険が伴うだけに、車の伴走や応急手当、又通訳など東予ライオンズクラブの皆さんや関係各位の皆さんには大変お世話になった一日でした。





7月24日(水)  
愛媛(松山)

## 松山城から 道後温泉へ：

皆で遊ぶのも今日が最後となりました。第6日目はゆっくりと「いで湯と城と文学の町」松山観光をします。

今朝も8時半に宿舎を出て、先ずはバスで松山城へ向かいました。ロープウェイを乗り継ぎ上り、合流した観光通訳ガイドにより松山城を案内してもらいます。上った天守閣から見下ろす松山の街をスマホで撮ったり、火縄銃を手に取りポーズを決めたり、心地よい風に吹かれて腰を下ろしたりと、暫くの間くつろいだようでした。

リフトで城を下り、次に道後温泉へと向かいました。道後温泉本館はあいにく改修工事中でしたが、足湯や商店街散策を楽しみます。13時より始まる駅前のからくり時計を觀賞した後「マッチ箱のような汽車」と小説で紹介された坊っちゃん列車に乗車をしバスの待つ松山市駅へと向かいますが、彼らには坊っちゃん列車もただの移動手段と映っただけで

した。残念。

30分後、砥部焼陶芸館へと場所を移し、愛媛の伝統工芸品である砥部焼の絵付け体験してもらいました。お手本を参考に皆真剣な眼差しで作品に取組み、何とか時間内に絵付けを完成させたようでした。彼らが帰国する迄には仕上げてそれぞれのホストファミリーに届けることができました。

今日一日で日本の伝統文化を少しは理解して貰えたでしょうか。

さて、夕食は今回のキャンプで初めてのバーベキューです。施設が全て用意をしてくれたのですが、あと焼いて食べるだけなのですが、皆楽しそうです。18時開始なので外はまだ明るく、食材も輝いて見えます。Y E生は私達にも焼き上がった肉などを持って来てくれました。心配り、優しさに少し嬉しく思いました。

さて夕食も終わり、皆部屋へと引き上げて行きますが、残った多くのソフトドリンクで今夜も二次会のようにでした。

今夜が最後です。



7月25日(木)  
愛媛(伊予)

## キャンプレポート発表後、それぞれの ホストファミリーの元へ――。

1週間のキャンプもいよいよ最終

日となりました。午前9時より高岡

地区ガバナー、関野前地区ガバナー

ご臨席のもと、閉村式が行われまし

た。YE生はそれぞれに大きなスー

ツケースを引きながらミーティング

ルームへと集まって来ます。別れの

名残惜しさか、キャンプ終了の安堵

感なのか、いつもの朝以上に疲労感

が見受けられた彼らでした。その後

YE生には、この1週間のキャンプ

レポートを書いて報告をしてもらい

ました。

それぞれの1週間の思い出が報告

されましたが、多く耳にしたのが皆

が優しく接してくれたという感謝の

メッセージでした。前述したように、

雨天時の室内レクリエーションにおい

ても日本の遊びを取り入れるなど、

レオクラブの思いやりと活躍が大変

助かりました。不安な気持ちを持ち

ながら異国へ来て過ごす中で、キャ

ンプを通しての連帯意識を感じるの

は自然のことであり、だからこそ相

互理解を旨とするYCE事業が大切

なのであります。

毎年、受入れホストクラブ、ホス

トファミリーの確保に大変な苦労が

ありますが、1週間合同キャンプに

預けていただき、同世代の若者達で

共同生活をさせることは、双方にと

って有意義であると思います。

閉村式終了後、最後の昼食をいた

だき、再びそれぞれのホストファミ

リーへと向かいました。生活様式の

違いなのか、時間の感覚に少し違和

感を感じることも多少ありましたが、

大きな怪我も無く、1週間無事に終

了出来て一安心です。

お疲れさまでした。



キャンプレポート作成中…



発表、通訳担当はたいへん…



ハシはムズカシ～イの声が…



高岡地区ガバナー・関野前地区ガバナーを中心にホストファミリー、YCE大野委員長はじめサポートのYCEスタッフと大活躍のレオクラブも一緒に…アクション! の声に打ち合わせポーズ。まさに心は一つ、サマーキャンプの成果…?



2R・4Z東予ライオンズクラブ  
336 複合地区YCE副委員長  
**青井 俊夫(東予)**

今年も昨年に引き続き、YCE生の受け入れをすることになった。このところ、受け入れクラブの減少から、直前までホストクラブが決まらないということが続いている。去年は派遣生を出していたので、予算的に受け入れは無理な状態だったのだが、最後の一人が決まらず、クラブメンバーに事情を説明して受け入れてもらった。今年も、最初にイタリア生の受け入れを決めていたのだが、台湾生の最後の1人が決まらず、結局イタリア女子と台湾男子の2名を引き受けることとなった。ホストファミリーはそれぞれ2家庭ずつ、計4家庭で手分けして受け入れた。今期のサマーキャンプは、336複合全体で1週間のロングキャンプ

を計画していた。実際にはD地区以外A・B・C地区合同で行うことになったのだが、これも来日生にキャンプを中心としたYCEを理解してもらうこと、そして何よりホストファミリーには1週間手が離ればそれだけ負担が減る。そんなことを熟慮した結果だった。我が家には、後半の1週間、台湾のバディこと陳柏諱君がホームステイしたのだが、クラブのメンバーが、イタリアのカロリナとともに昼間は面倒を見てくれて本当に助かった。松山南LCの受入生の黄君も我々のところまで来て、花火大会、その翌日に日帰りの家族例会旅行も一緒に行った。2日後はUSJもそして翌日、石鎚登山も行動を共にした。バディは帰国前日、しまなみを自転車で80数キロ私と我がメンバーと一緒に走ったのだが、炎天下にもかかわらず全く元気で、いい思い出になったと思う。

今回、複数の受け入れをして感じたことだが、1人受けるのも2人受けるのもあまり変わらないということ。本当はもっともっと受け入れ希望クラブが増えて、皆と一緒にYCE活動のすばらしさを共有したいところです。



9R・2Z徳島藍ライオンズクラブ  
9R・YCE地区委員  
近藤 裕美（徳島藍）

夏期派遣、受入れオリエンテーションにより素晴らしい経験が出来たことを御報告させていただきます。

名前はイエ・ユイシンさん、女性、ニックネーム（チエルシー）19歳、大學生。

今年度、当クラブは結成25周年に成ります。今回、その事業計画の一つにYCE受入れをさせて貰う事に成りました。当クラブはYCE受入れについては、時々してきました。

でも、この度ほど会員の方が日々交代で色々な体験を彼女にさせて貰えた事は無い様な気がします。先ず一番の感謝がホスト家庭の承諾を山畠さんが気持ち良く引き受けてくれた事です。その上約2週間のスケジュールを表にしてくれたこともあり、会員の方も仕事の合間に参加出来る日が分りやすいので、ほとんどの会員さんが協力して貰えました。

又、LINEにてその日の行動を写真で共有する事が会員全員で分か

り、彼女とも会話がスムーズに成った様に思います。彼女の楽しそうな様子が日々報告されて行くので個々の会員さんの特技や才能を彼女の体験に惜しみなく時間をつくって頂きました。それでクラブ全体の思いがますます彼女との心の繋がりとなって深い物に成りました。また他クラブの阿波池田LCさん、鳴門LCさんの御協力で、素敵な奥祖谷から橋と鳴門の渦それから毎年恒例の眉山LCさんとの合同例会に彼女の初々しい浴衣姿を見てもらい、いつも以上に楽しい合同例会に成りました。当会員に中国語を通訳出来る佐藤さんには何回も協力して貰いましたので、彼女の体験理解度もスムーズになったと思います。又彼女はしつけが良く、周りの人に対して気配りがとつてもありますので、生活や外出でのマナーなど困ることもなく毎日楽しそうに過ごしていました。先ず、体験では、家庭のバースデーパーティーに参加、墨彩画作品づくり、阿波踊りを踊るのも喜びました。藍染め体験とその洋服のファッションショーのモデル、サマーキャンプ帰

りには今治のタオル美術館見学。徳島では大塚美術館、ドコモショップ見学や他の会社訪問。四国放送見学ではラジオ生放送参加。それからパン作り体験、たこ焼きとお好み焼きパーティー、彼女の要望の小豆島で魔女の宅急便モニュメントへ行き多彩な体験を毎日して貰いました。記念写真も沢山できました。帰国の頃になると彼女はお見送りはノウと言つて悲しがりました。そこで私たちが寂しくなり貰い泣きをしました。今回の受入れでは、国が違い言葉も余り通じなくても素晴らしいお付き合いが出来たことを、ライオンズを通して誇りに思いました。彼女も最後に山畠さんへ感謝の手紙を書いてくれたことが私達も嬉しかったし彼女にとつてもこれからの人生に良き体験になったと思えました。最後にこの度に御協力頂きました方々には、この場をお借りして本当に感謝申し上げます。有難うございました。







## 第32回 国際平和ポスターコンテスト テーマ「平和の道のり」選考会

この度、松山キャビネットによる国際平和ポスターコンテスト選考会が開催された。

その選考会の審査をして欲しいとご要請があり、不肖私がその選考会に臨んだ。

この選考会は四国四県の小学5年生から中学1年生を対象に、第32回「国際平和ポスターコンテスト」テーマを「平和の道のり」として募った結果、全応募数4,115点のうち一次審査を通過した149点の最終審査です。それを会場の床に全作品を広げて選考を行った。

始めに担当委員の方々に自由に3点を選んでいただき、その中から私が作者の名前を見ないで作品の出来映えのみで、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作6点、ガバナール賞1点を

それぞれ選んだ。最優秀賞は堂野乃

海さん。優秀賞は石崎祥馬さん、谷水にこさんのお二人。佳作は越智景

都さん、松本湖那さん、大谷晏璃さ

ん、西口采伽さん、宮脇亜門さん、

森田結心さんの6名の方々。ガバナ

ール賞は大石萌花さん1名です。

皆さんいずれも質が高く、色使いも

きれいでレベルが凄いと感じました。

入賞作品以外の作品もそれぞれ立

派であり選考時に迷う程でありまし

た。

来年（令和2年）は高知で開催さ

れるとのことですが、入賞の方も入

賞を逃した人も、これまで以上に頑

張って、今からその応募に向けて心

の準備と作品のトレーニングを怠ら

ずやっておきましょう。

それをやっていたらきっと入賞作

■11月23日(祝)

■NPO法人命の貯蓄体操普及会スタジオ

審査講評

特別審査員 清成勝人

品が出来ると思います。作品を作るにはエネルギーが必要です。そのためには健康第一で、運動と3度の食事をきちんと取るようにしましょう。頑張ってくださいね。下学年にもそのようなお伝え下さい。

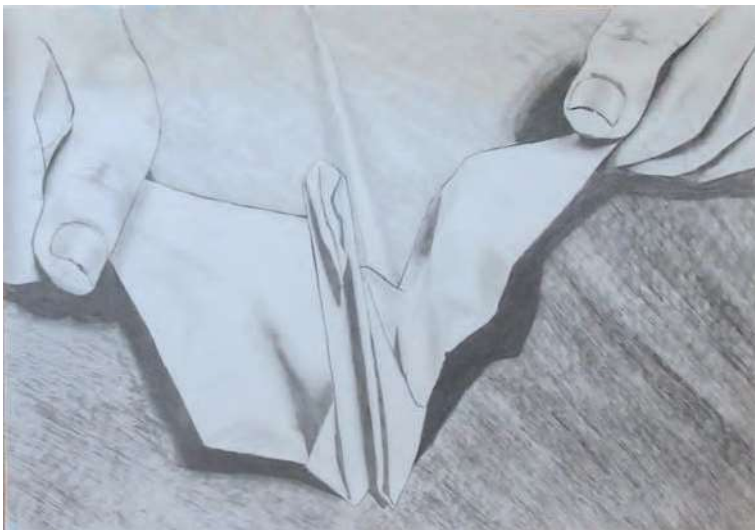


336-A地区 **最優秀賞**



堂野 乃海 徳島市立城西中学校1年 徳島城山LC

**優秀賞**



谷水 にこ 香川大学教育学部附属高松中学校1年  
高松北LC



石崎 祥馬 松山市立小野中学校1年  
松山西LC



## 2019~2020 国際平和ポスターコンテスト

- ・336-A地区参加クラブ数 90LC
- ・クラブへの応募総数 4,115枚
- ・地区キャビネットへの応募数 149枚

### ●選考委員 18名

- ・清成勝人 特別審査員
- ・高岡英治 地区ガバナー
- ・澤田有馬 キャビネット幹事
- ・兵頭好喜 キャビネット会計
- ・MC・青少年・地区誌の各委員長 計3名
- ・1~9R青少年地区委員 計9名
- ・副幹事 2名



大石 萌花

吉野川市立鴨島小学校6年  
徳島藍LC

# 地区ガバナー賞

## 佳作



大谷 晏璃

西条市立西条東中学校1年  
西条石鎚LC



松本 湖那

西条市立石根小学校6年  
伊予小松LC



越智 景都

西条市立玉津小学校6年  
西条LC



西口 采伽

多度津町立豊原小学校6年  
多度津LC



森田 結心

三木町立平井小学校5年  
三木さめきLC



宮脇 亜門

さぬき市立寒川小学校6年  
長尾LC



60周年

7R-1Z 高知鷹城ライオンズクラブ  
●10月12日(土) 城西館  
MC委員長 南宏道

### 結成60周年記念式典を終えて

令和元年10月12日(土)城西館にて、ご来賓の皆様、姉妹クラブそして県下ブラザークラブの皆様方、多数のご臨席のもと盛大に行うことができました。  
60年の集大成となる結成60周年。過去の経験を踏まえ、「青少年健全育成記念事業」、「繋がる鷹城」、「おきやくの鷹城」この3点をテーマとすることとしました。  
まず、記念事業としては、高知市内の小中学校への熱中症予防のため

の熱中症測定器を贈呈。また、親子の絆を深める一助になればと開催している親子ハゼ釣り大会は、例年より規模をバージョンアップして行いました。  
式典では、アクティビティを記事にした鷹城新聞を作製し、それを新聞バッグにしました。また、記念品のアイシングクッキーは、55周年の記念事業で北海道への修学旅行の夢を叶えた穴内小学校の生徒(現在高校生)が製作を手伝ってくれたものです。これは「繋がる鷹城」となりました。  
祝宴は「おきやくの鷹城」。おもてなしの心を基本に和の口上から始まって、会員によるバブリーダンスなど「おきやくの鷹城」をこじやんとや

り抜きました。  
最後に、この度の記念式典を成功に導いた会員達の尽力に感謝の意を表して、報告と致します。



40周年

5R-2Z こんぴらライオンズクラブ  
●10月27日(日) 琴参閣  
会長 山本順子

### 40周年記念式典を終えて

秋色深まる10月27日、こんぴらライオンズクラブ結成40周年記念式典を開催しましたところ、浜田恵造香川県知事をはじめ多くのご来賓の皆様、ライオンズクラブ国際協会336-A高岡英治地区ガバナー、キャビネット役員、ブラザークラブの方々、多くの皆様方に公私共にお忙しところご出席頂きまして心よりお礼を申し上げます。無事に終了しま

ずはホッとしております。過ぎ去った過去を思い起こす時、『我々は奉仕する』を守り、地域に密着した活動を行ってまいりました。先輩ライオンが培ってきた英知と努力、相互の友情と和を計りながら、今後も50年100年に向けて更なる奉仕活動を進めて参る所存であります。  
ご来賓の皆様方から頂きましたご祝辞及び激励の言葉を胸に秘め、メンバー一人一人は元より、クラブが結束し奉仕活動に邁進してまいります。今後とも尚一層のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。







We Serve

去る10月27日に土佐清水LC結成55周年記念式典を開催いたしました。当クラブは1964年10月25日に四万十LCのスポンサーにより結成され、以来55年の長きにわたり地域や社会への奉仕に取り組んでまいりました。この式典に際し、高知県立清水高等学校へ大判インクジェットプリンターを寄贈、土佐清水市市野瀬地区番外札所『真念庵』改築費用を

これからの社会奉仕に対する情熱とライオンズ精神を受け継ぎその時代に即した事業に積極的に取り組んで参ります。この55周年を節目に会

55周年

6R-3Z 土佐清水ライオンズクラブ  
●10月27日(日) 足摺テルメ

会長 三木 達彦

### 結成55周年記念式典開催

令和元年10月27日(日)に高知北ライオンズクラブは城西館におきまして、結成35周年記念式典を開催いたしました。岡崎誠也高知市長をはじめご来賓の皆様方、ライオンズクラブ地区役員委員の皆様、姉妹クラブである郡山北ライオンズクラブ、松山北ライオンズクラブ、高松北ライオンズクラブの皆様、多くのブラザークラブの皆様のご臨席を賜わり盛

会にて無事終了できましたこと心より感謝申し上げますと共に厚く御礼申し上げます。  
我がクラブは、結成以来今日まで障がい者支援・高知駅前清掃など16のアクティビティを継続し地域に密着した奉仕活動に取り組んで参りました。  
特に今期35周年記念事業といたしましてアンパンマンベンチを高知中央公園に2基、はりまや町に2基、合計4基を贈呈。第16回高知北LC杯ミニバスケットボール大会では全選手にリストバンドを贈呈いたしました。  
この35周年を契機といたしまして

員増強と地域に根差した奉仕活動に一層精進してまいります。

35周年

6R-1Z 高知北ライオンズクラブ  
●10月27日(日) 城西館

会長 中山 政幸

### 結成35周年記念式典

会員一同、より地域に根差した地域社会から愛され信頼される奉仕活動に邁進して参ります。今後とも皆様方により一層のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



## 国際会長公式訪問 歓迎会(名古屋)に出席して

336・A第一副地区ガバナー 酒井公一(高知りょうま)



2019年9月  
11日名古屋キャッ  
スルプラザホテル  
に於いて、ジュン

ヨル・チョイ国際会長が日本を公式訪問されました。チョイ国際会長のメインテーマは「多様性」であります。ライオンズ全般の考え方、奉仕の形を多方面から考え、形にとらわれない柔軟な考えで今後150年200年に向かって心一つにして、ライオンズライフを楽しもう、これが、チョイ会長の方針だと受け止めました。

公式訪問会議の進行は少し日本と違い、チョイ国際会長自身が最初から最後までマイクを握り、進行役とスピーチを一人でこなし、自身のテーマに添って2時間を超えるスピーチを熱く語られた。

まず、自身のライフワークを述べられた。私の一日は暗闇の中から始まり、次第に心が澄み渡り、空には

美しい光が差し始めます。時に相手の方々に賛同出来ない場合も有るかも知れないが陽に照らしてはつきりと物事を見つめる事によって、合意点を見出し希望の光となっていきました。現在韓国と日本は少し難しい時代になっているが、ライオンズは違います。世界のライオンズは一つで第1番目に選びました。多様性の観点から以前は見えてなかった解決策を見つけ、地域社会が直面している問題に対応し解決出来るようになるでしょう、と述べられ私も感動致しました。

ライオンズの本題では会員減少を危惧されており、会員増強のスピーチではなるべく多くの方々に声掛けをしましょう。(この声掛けは私が以前より考えていて大いに賛同しました)次に公務員もしくは企業を定年退職された方々に声掛けをしよう、一度退会された方も事情が変わり、

再入会が有るかも知れない、楽しい例会に、充実したアクティビティにと知恵を絞って下さい。などなど、非常に参考になりました。

LCIFのスピーチでは力をこめて重要性を語り、LCIFに対する貢献度は日本、韓国、台湾の3国が多大な金額を拠出している事。今後、地球環境の変化、発展途上国への医療、食料支援、人道的支援などLCIFの重要性を説かれた。会場は和やかな雰囲気で行われ、国際会長夫妻を囲み8複合330・337の出席者の記念写真も撮影された、気の合った仲間同士でも気軽に写真にに応じて頂いた。

今、日本では未曾有の災害が多発しておりLCIFの大切さ、会員増強の重要性を我が事と捉え336・A地区の会員全てがジュンヨル・チョイ国際会長の付託に応えて頑張りましょう。





■東洋・東南アジアライオンズフォーラム  
**第58回 OSEALフォーラム(広島)に参加して**

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員長 **友石晃由(松山ホスト)**

2019年11月7日から11月10日

まで広島市で開催。第102代ジュ  
 ンヨル・チョイ国際会長のご臨席を  
 仰ぎ、OSEAL会則地域内外から  
 約12,000名の皆様をお迎えして

盛大に開催されました。日本では福

岡市で開催された第51回大会以来7  
 年ぶりで、336複合地区において

は初めての開催となりました。

58回目を数えたフォーラムのテー  
 マは「Peace・平和」で、平和

を象徴する都市として世界中にその

名を知られている広島で「平和を学

び 祈る Praying for

Peace」のスローガンの下、各

種セミナーや会議、灯ろう流しなど

のイベントが行われました。

11月8日(金)13時から広島グリー

ンアリーナにて、賑やかな音楽とオ

ープニング映像にて開会式が始まり

ました。大会役員の紹介並びに入場

行進の後、オープニングアトラクシ

ョンとして勇壮な太鼓による演舞に  
 よりテンションが上がりまくってい

ました。開会宣言&ゴングに続き国

歌演奏と肅々と会は進み、広島大学

平和センターのセンター長、川野徳

幸教授による基調講演「原爆被爆被

害とは何か」を1時間じっくりと拝

聴し、16時に閉会宣言&ゴングで終

了いたしました。

9日(土)は広島国際会議場をメイ

ンに各種セミナーが開催されました。

私はアラート委員会に出席しました。

最近の未曾有の災害のせいか、会議

は椅子が足りずに入口まであふれん

ばかりの参加者でした。まだできた

ばかりのアラート委員会ですが、今  
 後ますます重要な委員会になりそう  
 です。

日程の都合で閉会式には参加でき  
 ませんでしたが、初めてのOSEA  
 Lフォーラムに感動、勉強の楽しい  
 時間を過ごせた事に感謝いたします。



6R・1Z 高知桜ライオンズクラブ  
松崎 淳子 (2019年10月25日) 寄稿

## あれから23年 三献運動推進パレードの思い出

高知桜ライオンズクラブは結成して26年目になります。結成時から最高齢の私。初代会長を仰せつかり、地区委員も早く、会長を終えた2年後(1996〜7)に保健福祉、その翌年は地区誌編集と続くなかで、国際的奉仕団体ライオンズの基礎知識を先輩から学ぶ幸運に恵まれました。地区誌委の期は、(故)中沢芳信地区ガバナー就任の国際大会には4・8R(当時)から多くの支援参加があり、私も入れて頂いてフィラデルフィアでの諸行事に参加、諸先輩にご指導頂くご縁が出来てしあわせでした。

保健福祉委の期に、ライオン歴の短い私にも大仕事を仰せつかることに：「献血・献眼・献腎(当時はこの三献)推進パレード」なるものを企画・実施することです。

というのは、期の始めの4・8R合同地区役員会議で(故)宮地健三8RCから「ライオンズの重要アクティビティである三献運動をより活力あるものにする策」として提案されたのです。336・A地区初の試みとなるこの案を受けて、保健福祉委の2人(8Rの千頭滞久朗さんはライオン歴3年、4Rの私は2年)は「2人でやっと1人前やネー」と笑い乍ら企画に入りました。千頭さんは、はりまや橋の袂に店を持つ土

第1回のパレードは1996年の秋に実施。写真は2001年の風景。



県庁を出発し、帯屋町商店街へ。風船を通行人に渡すこのスタイルで続けられている。この年の吹奏楽団は県警察の楽団。



佐土産物店主、私は教員あがり。2人仲良く県庁、警察にも相談して廻り、どうにか立案。

当時、巷では「ライオンズって野球の団体?」「マンションの名前?」としか認識されていなかった。それを「三献?」「それ、私たちの社会の課題?」「そうだったの?」と、注目されるパレードにしたい!。それには「品格」、「パワー」、「親近感」のあるスタイルに!と。イメージとしては――整然と歩く、音楽隊と横幕を先頭にした大きな隊列にしたい。道行く人が足を止めて視る時、三献のチラシを渡す――と、こんなイメージ。

秘かに願うのは、

- 1)ライオンズクラブの存在を市民に改めて知ってもらおう。
- 2)奉仕のテーマをアピールして、社会課題の共有を進めたい。
- 3)市民がライオンズクラブに好意をもつてくれますように。

でした。市内クラブの皆さんも提案を快く支持され、桜LCの委員会も吉本千恵委員

はじめ手際よく動かれました。宮地リジョン・チエアパーソンも大変飲んで下さいました。これが恒例の秋のアクティビティとなり、三献は骨髓移植を加えて四献となつて続けられているのは、嬉しいことです。今も社会的ニーズは多くて、新味を加えてのアピールを願うところです。

歩けぬ老女は遠くよりエールを送るばかりですが…。



(2019.11.16撮影)



帯屋町商店街を行く(今期の)第24回パレード。車椅子を押す酒井公一第一副地区ガバナー。手前は橋本充好元地区ガバナー・地区名誉顧問。

おことわり  
寄稿文での  
ライオン(L)の呼称  
について…

336複合地区内および複合地区内の各地区キャビネット主催の諸会合では、ライオンの呼称を廃止しています。  
①例会等で呼ぶ場合○○○○さん ②例会を含む公式会合で役職者を紹介する場合○○○○会長の参考例をあげ、「様」も付けません。336-A地区発行の地区誌「四国」も上記参考例に沿って制作。



物 故 会 員

謹んでお悔やみ申し上げます

- ①氏名・享年
- ②所属LC
- ③入会年月日
- ④没年月日



①林 寿雄 (74歳)  
②4R-4Z 高松紫雲LC  
③1986年3月12日  
④2019年9月1日



①森澤 英世 (74歳)  
②6R-2Z 土佐LC  
③1980年11月19日  
④2019年9月10日



①川真田 哲哉 (71歳)  
②9R-2Z 鴨島LC  
③1973年6月1日  
④2019年9月10日



①村上 一利 (48歳)  
②5R-2Z 観音寺中央LC  
③2013年4月10日  
④2019年9月12日



①長岡 大吉 (61歳)  
②9R-2Z 脇LC  
③2016年3月1日  
④2019年10月14日



①三笠 勝彦 (58歳)  
②9R-2Z 阿波LC  
③2015年8月20日  
④2019年10月27日



①木村 護 (75歳)  
②6R-3Z 四万十LC  
③1984年10月1日  
④2019年11月1日



①藤本 一夫 (58歳)  
②9R-2Z 鴨島LC  
③2018年6月1日  
④2019年11月5日



①高橋 尚毅 (55歳)  
②2R-1Z 新居浜LC  
③2017年7月1日  
④2019年11月24日



①吉村 屹 (81歳)  
②4R-4Z 高松栗林LC  
③1974年9月1日  
④2019年11月24日



①谷 文数 (101歳)  
②5R-1Z 丸亀LC  
③1959年10月1日  
④2019年11月25日

●2019年9月1日  
～11月25日まで

編集後記

今号も発行がおそくなり誠に申し訳ございませぬ。

なぜか縁?...あつて4度目の地区誌編集、すでに走り出している列車に飛び乗って...ようやく2号発行にたどり着きました。

制作に関わっていただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

1号・2号とも原稿依頼から締切りまでとても十分とはいえない日程、にもかかわらず皆様から励ましの声を添えての寄稿に感謝の思いでいっぱいです。有難うございます。

さて3号では、20年前の2001年「みんなで作る地区誌」をテーマに全クラブ参加を呼びかけ、増ページ・オールカラーで注目され、寄稿依頼時から発行後まで好意的な声が寄せられ149LC全クラブが勢揃いした。

夢よもう一度、2020年高岡地区ガバナリーの「四国は一つ」の思いを地区誌紙上展として「おらがクラブ自慢」を募集しています。

すでに送稿済みのクラブもあるかと思いますが1～9RのMC委員から未投稿クラブさんへ直接電話などで寄稿を呼びかけることになっていきます。

クラブ自慢をツイートする気分で「紙上コミュニケーション展」を実現したい。

MC委員会が「みんなでつくる地区誌」の思いの下で一致協力、ワン・チームになってクラブ活性化のヒントを寄せ合うことを願っています。



地区誌編集委員長  
宗像 陽明

大会スローガン

「いいゆ加減まつやま」へようこそ

大会サブスローガン 四国は一つ 真心こめて「ウィ・サーブ」



■ガバナー・スローガン We Serve (ウィ・サーブ) ■キーワード「真心」



ライオンズクラブ国際協会336-A地区

# 地区年次大会



最終登録締切 2020年2月20日(木)

大会登録料 会員/10,000円 記念ゴルフ 登録料/5,000円 (年次大会とセットで登録をお願いします。)

※最終登録以降の返金は出来ません。各クラブでまとめて必ず締切日までにお申し込みください。

記念ゴルフ大会・前夜祭・日韓親善国際交流の夕べ

2020年 4月11日(土)

記念ゴルフ大会：奥道後ゴルフクラブ  
登録料/5,000円 エリエールゴルフクラブ松山

前夜祭・日韓親善国際交流の夕べ：国際ホテル松山  
登録料/10,000円

式典

2020年 4月12日(日)

会場：愛媛県県民文化会館  
愛媛県松山市道後町2丁目5-1

### ●指名選挙会

登録受付/7:30~8:45 投票/7:35~8:50

### ●代議員分科会

登録受付/8:30~9:00 分科会/9:00~9:50

- 第1分科会 GMT・GLT・FWT・会則委員会
- 第2分科会 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会
- 第3分科会 青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員会
- 第4分科会 環境保全・保健福祉・アラート委員会
- 第5分科会 YCE・ライオンズレオ・国際関係委員会
- 第6分科会 IT特別委員会

●代議員総会 (1F サブホール) 10:00~10:50

●大会式典 (1F メインホール) 11:00~12:50

●ガバナー懇親会 (2F 真珠の間) 13:00~14:30

いま道後は  
ほっこりアートフル!



道後温泉本館  
ラッピングアート  
「火の鳥」



We Serve

四国は一つ

■地区ガバナー・スローガン 「We Serve (ウィ・サーブ)」

■キーワード 「真心」

ライオンズクラブ国際協会336-A地区  
2019-2020年度 松山キャビネット事務局  
〒790-0066 松山市宮田町188-8-209  
Tel 089-909-5233 Fax 089-909-5234  
E-mail matsuyama2019@lci336a.org

地区誌 四国 10・11・12月  
2019.第108号

発行日 令和1年12月31日  
発行所 336-A地区 松山キャビネット事務局  
発行人 高岡 英治  
編集 集 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会  
印刷 東洋オフプリント(有)